

Economic Indicators

発表日: 2024 年 5 月 17 日(金)

主要経済指標予定(2024 年 5 月 20 日～5 月 24 日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(5 月 20 日～5 月 24 日の主なイベント、指標予定)

	指 標 名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
5 月 20 日 (月)	13:30 3 月第 3 次産業活動指数 (前月比) (前年比)	▲0.5% +1.0%	— —	— —	+1.5% +2.5%
	14:00 4 月コンビニエンスストア統計 既存店ベース売上高(前年比)	—	—	—	+0.4%
	14:30 4 月全国百貨店売上高 店舗数調整後(前年比)	—	—	—	+9.9%
5 月 21 日 (火)					
5 月 22 日 (水)	8:50 3 月機械受注統計 船電除く民需(前月比) (前年比)	▲1.6% +2.3%	▲1.6% —	▲4.0%～+5.0% —	+7.7% ▲1.8%
	8:50 4 月貿易統計 輸出金額(前年比) 輸入金額(前年比) 貿易収支(原数値、億円)	+10.2% +9.0% ▲3,690	+11.1% +9.0% ▲3,395	+9.5%～+14.4% +5.0%～+13.0% ▲6,747～+462	+7.3% ▲5.1% +3,870
5 月 23 日 (木)	8:30 3 月毎月勤労統計・確報 名目賃金(前年比)	—	—	—	+1.3%
5 月 24 日 (金)	8:30 4 月消費者物価指数(全国) 全国総合(前年比) 全国コア(前年比)	+2.4% +2.2%	+2.4% +2.2%	+2.2%～+2.5% +2.1%～+2.6%	+2.7% +2.6%

(注) 市場予測・レンジは Bloomberg、日経 QUICK 調査をベースに作成



3月機械受注・船舶電力除く民需 当社予想：前月比▲1.6% 中央値：同▲1.6%

3月の機械受注（船舶電力除く民需）は前月比▲1.6%の小幅の減少を予想する。製造業、非製造業ともに前月に大きく増加していた反動減が出ると見込む。もっとも、企業収益の改善や人手不足を背景に企業の投資意欲は強く、年明け以降の自動車減産の影響が緩和したことで、均してみれば機械受注は下げ止まりの兆しが見える。

（副主任エコノミスト：大柴 千智）

4月貿易統計・貿易収支額（原数値） 当社予想：▲3,690億円 中央値：▲3,395億円

4月の貿易収支を▲3,810億の赤字（季節調整値）と予想する。物価変動の影響を除いた実質輸出は、自動車生産の回復を背景に増加が続くだろう。先行きの貿易収支については、自動車輸出の挽回が続くものの世界経済の減速が下押しとなり、緩やかな持ち直しに留まるだろう。その一方で、円安や資源価格上昇を反映した輸入物価の押し上げにより輸入も増加することから、貿易収支の赤字は拡大リスクが高まっている。

（副主任エコノミスト：大柴 千智）

4月全国消費者物価指数（生鮮食品除く総合） 当社予想：前年比+2.2% 中央値：同+2.2%

CPI コアは前年比+2.2%と、前月の+2.6%から上昇率の鈍化が見込まれる。食料品価格の伸びが大きく鈍化することに加え、エネルギーや食料を除いた部分でも鈍化が予想される。なお、東京都区部のCPIを大きく押し下げた高校授業料実質無償化については、全国では0.1%Pt程度の下押しにとどまると予想される。

（シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴）

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

